

介護者の心身の負担軽減のために

今年も

「介護者のつどい」を開催しました

自宅で家族を介護している介護者の心身の負担を軽減するため、「介護者のつどい」を開催しました。当日はショートステイやデイサービスなどの介護保険サービスをご利用いただき、介護の心配をせず安心して参加していただきました。

●第1回「リフレッシュ旅行」(寒河江・河北町方面) 【10月19日(土)開催】

河北町に紅花染め体験にでかけました。ハンカチが紅花の紅い色に染まり、それぞれの個性が出た世界に一つの素晴らしい作品ができあがりました。日頃介護をしているみなさんには、よい気分転換となったようです。

●第2回「認知症セミナー」 【11月6日(水)開催】

認知症の方の介護には、地域の理解が不可欠とされています。そこで、第2回目の介護者のつどいでは、認知症介護研究・研修仙台センターの矢吹知之主任研究員を講師に迎え、『認知症の人を地域で支えていくために私たちが知っておきたいこと』と題して講演いただきました。



認知症を正しく理解するために身近な話題を交えながらのお話に、「認知症について知るいい機会となった」、「今後の介護の励みになった」という声が聞かれました。

●認知症介護者のつどい「認知症教室 グループワーク」 【11月20日(水)開催】

今年度は初の試みとして、認知症介護者に限定した認知症教室を開催し、認知症の方を介護するうえでの悩みや思いを語っていただく場を設けました。

特別養護老人ホーム福寿荘の笹原援助主査にコーディネーターを務めていただきグループワークを行っていくと、「家族はいるが介護をしているのは自分一人で負担だ」、「毎日が戦いのようだ」などの日々の介護についての思いが出されました。同じ悩みを抱える仲間として語り合い、情報交換していただく機会となりました。



●お問い合わせ先……介護・福祉サービスで心配なことがあれば、何でもご相談ください!!

地域包括支援センター(福祉課内) ☎ 64-1525

(毎週月曜日には、専門相談窓口も開設しています。お気軽にご相談ください。)